



**農業パーク構想、吉川駅
北側の冠水対策等の事業は**

遠藤 義法

問 三輪野江地区「農業パーク」構想でコンサル会社と契約したが、今後の事業の進め方は。

答 コンサルタント会社と事業者ヒアリングや地権者訪問を行ってきた。今年度中に対象区域・ゾーニング、事業手法などいくつかの案を提案していただく。地権者意向や参入希望者の動向も未定なため公表することはできない。

問 吉川駅北側の第一排水区の冠水対策のための雨水流出解析調査結果と今後の計画は。

答 解析調査によって、共保ポンプ場全体の排水能力の増強や一部管渠の布設替^かえで、5年確率の雨量でも吉川駅北側の冠水は解消できる結論が得られた。今後は、江戸川河川管理者と放水量増加等協議をしていく。

問 長寿命化計画から市民交流センターおあしす改修の準備を進めるとしてきた。他の施設含めてこれからの事業計画は。

答 おあしす改修のために今年度設計を行っており、令和5年度工事の予定。総合体育館は来年度設計としている。他の施設の劣化度調査を行ってきた結果、前年度と大きな変化は見られないため、計画の変更はない。

委員会提出議案

◆議会運営委員会より提出された議案

吉川市議会の個人情報保護に関する条例

改正された個人情報保護法の施行に伴い、吉川市議会における個人情報の適正な取扱いに関し、必要な事項を定めるものとす。



提案理由を説明する中嶋議会運営委員長

議員提出議案

意見書

意見書は、地方自治法第99条に基づき、市の公益に関することについて、国会や関係行政庁に対し、議会の意見をまとめて提出する文書のことです。

今定例会には3件の意見書が提出され、次の2件を可決、内閣総理大臣等へ送付しました。

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再燃し発症するものである。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

带状疱疹による神経の損傷によつ

て、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるともいわれている。

そこで政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づき定期接種化を強く求める。

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出する。

